

工夫を行う観点	ご意見
⑥ 持続可能な社会の実現に寄与する施設整備	< 建築計画 > 1 給食調理環境の一体化 2 他：防災倉庫。 ※高効率な省エネ・環境配慮（グリーンインフラ）の導入 3 SDGsに配慮した設計: 地域社会の持続可能な発展に寄与する学校として、環境負荷が少なく、長期にわたって地域に愛されるSDGsに配慮した校舎設計を導入する。 4 SDGsの中で、子供達にも取り組めるリサイクルについて、空き缶やペットボトル、紙ゴミの分別出来る専用のスペースがあれば、卒業後の職業訓練にも役立つ。 < 構造・設備計画 > 非常時にも一定期間学校機能が維持できる設備や省電力、経済性、耐久性、維持管理に優れた設備の整備を考慮した計画とすること 1 感染症対策と室温維持ができる施設（西尾支援学校？ではなかったでしょうか） 2 災害時にも安全な衛生管理（トイレ、医療的ケア等）ができる給排水インフラの整備。 3 給食の残飯等を資源として生ゴミ処理、バイオマス設備の導入 4 省電力等、経済性、耐久性、維持管理に優れた設備の整備 5 災害時に利用できるよう、平時から、一定量の水道水を溜めておける設備や、太陽光で充電しておけるような設備の設置。 6 自然採光、省エネルギー設備、再生可能エネルギー等を活用した施設整備について検討することが望まれる。 7 災害時においても児童生徒の安全な生活を継続できるよう、非常用電源、福祉トイレ、空調設備、医療的ケアに必要な電源確保等を含めた防災機能の強化が必要である。 8 医療的ケア児を含む児童生徒が在籍する学校であることを踏まえ、停電や断水等の非常時にも一定期間学校機能を維持できる設備や備蓄体制について十分な検討が求められる。 9 将来的な教育ニーズや地域状況の変化にも対応できるよう、施設規模や設備については、柔軟に変更できるようにしておく。 ※太陽光を利用した温熱施設の充実10 温水プール、教室の床暖房、トイレの温水シャワー、農業用ビニールハウス等への利用 ※県産木材の有効活用 11 校内全体が木材に包まれた環境の設定 12 省エネルギー化：断熱性能の高い窓や壁、LED照明を採用し、持続可能性にも配慮する。エアコン集中管理。太陽光発電を利用した設備。農園で使う水の雨水利用。ただし維持や更新コストと相談。 13 校舎の屋根全面を使って太陽光発電し、校内の電力を賄う。 ※高効率な省エネ・環境配慮（グリーンインフラ）の導入 14 創エネ・蓄エネ・省エネ設備の積極採用: 持続可能な校舎設計として、太陽光発電システムや蓄電池を導入し、エネルギーの自家消費を促進する。また、全館の基本照明として長寿命・省電力のLED照明を全面的に設置する。

工夫を行う観点	ご意見
⑥ 持続可能な社会の実現に 寄与する施設整備	15 高断熱化によるエネルギー効率の向上: 校舎の壁や窓に高断熱材（複層ガラス等）を採用し、外気温の影響を最小限に抑えることで、冷暖房にかかるエネルギー消費を大幅に抑制する。 16 奈良県産の木材を使用してはどうか。 ＜備品等＞ 1 各教室の机・椅子を木材製に ＜全般＞ 1 奈良県の福祉の中核施設（北部）に使用してはどうか。